

6/29 | 目指せ恐竜博士！

市内外の小学5年生40人が参加する「かつやま恐竜スクール」の結成式が行われました。

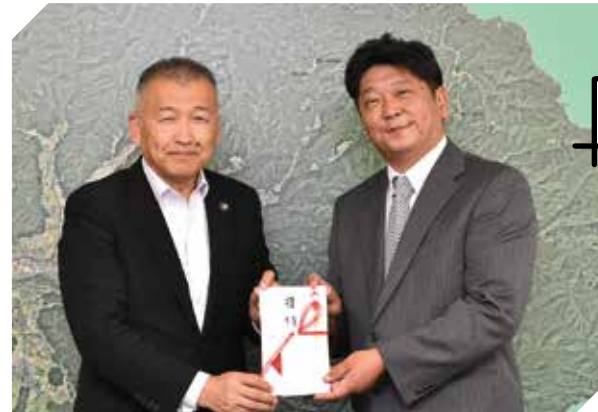
来年2月まで古生物学や地質学などを学びます。

結成式後には、第1回講座が行われました。



7/1 | ご寄附ありがとうございます

能登半島地震で被災し、勝山市に避難してきた方への支援金として、福井県薦土工業協同組合勝山支部から20万円ご寄附いただきました。



ふるさとを訪ねて

地域文化を掘り起そう

市史編纂室 山田 雄造

勝山高校 その一

勝山地域に中等学校設立の悲願は第二次大戦以前からありました。23年3月勝山町長となった山内譲の公約の一つが勝山高等学校の誘致でした。しかし町は昭和22年（1947）の新学制にともない、勝山中学校の建設さらには勝山高女の存続の問題も重なり、難しい対応を迫られていました。一方、一町九村（上志比村含む）の町村長も高等学校開設の陳情書に名を連ねていました。

一方、精華高女を県立高校（勝山精華中学は設立されていた）にしたことの要望も出されていきました。どの問題も財政負担が一番のネックでした。そこで精華高女の校舎を利用して精華・勝山高女を併合して県立高校にとの案で県との間に合意ができました。しかし校舎移譲の問題でご破算となりました。

県は新県立高校の設置について一校とするの方針を出し、勝山高女は校地・校舎に不安があるとして保留



開校式の様子



開校記念祭の様子

としました。23年3月13日、現地調査団が勝山町に派遣されたのを機に、地元代表は改めて要望を述べ、勝山校女の生徒は真心をこめて嘆願書を読みあげました。町議会も急ぎよ開かれ成器東小学校の校地と校舎を県に無償譲渡すると決定しました。県はこれを受け入れここに悲願の勝山高校設置が決定されたのです。

朝日方円が新校長に招かれ23年4月5日午前9時開校式が挙行されました。勝山高校は男女共学の学校となり、大野郡北部一町八村からの生徒四二二名で発足しました。同月25日、開校記念祭が行われ生徒は神輿を作り町を練り歩きました。

市民の笑顔
お届けします

スマイル Pick Up!

勝山の魅力を移住者へ伝える



福井県移住サポーター
(左)土田 未来子 さん/(右)川端 裕子 さん

移住を考える方の相談や移住後の生活をサポートする「福井県移住サポーター」として活動する川端さんと土田さん。

2人は県外出身で、勝山で子育てをしながら暮らしています。川端さんは、令和3年から、土田さんは昨年9月から県から委嘱を受け活動されています。

「移住した際は、どうしても孤独を感じる」と思いますが、そんな時、少しでも不



勝山市移住者交流会 「笹寿司づくり体験」

8月4日(日)午前9時15分～正午 旧木下家住宅
旧木下家住宅の解説、笹寿司作り、スイカ割り 12人程度 500円
7月29日(月) 詳細はこちら



市民の笑顔
お届けします

スマイル Pick Up!

旧木下家住宅から地域を盛り上げる



プロジェクトKの皆さん

江戸時代後期の歴史的建造物で国の重要文化財に指定されている『北郷の庄屋敷 旧木下家住宅』の歴史的・文化的価値などを市内外に広く知ってもらうために活動する北郷まちづくり委員会の「プロジェクトK」の皆さん。

北郷町に住む40代から70代までの幅広い年代の8人がチームを組み、年に4回旧木下家住宅を活用したイベントを企画・実施されています。これまでJAZZコンサートや落語、マジック、フラダ



7月28日(日)に開催する「B'z のものまねライブ」前売り予約受付中！
詳細はこちら▶▶▶



「旧木下家住宅を知ってもらうことはもちろん、イベントを通して、北郷町や勝山市を市内外に発信できたらと思います。」と今後もチーム一丸となって、地域を盛り上げていきたいと笑顔で話されていました。



木下家ファンクラブ
(LINEアカウント)